

東京大学医学部附属病院泌尿器科にて がん遺伝子パネル検査を受けた方およびそのご家族の方へ

当院では、固形がんに対するがん遺伝子パネル検査を用いたがんゲノム医療の実態についての研究（多施設共同研究）に参加しています。この研究では、がん遺伝子パネル検査を行った患者さんの情報を収集し、がんゲノム医療の現状や課題について明らかにしていきます。

この研究の対象者に該当する可能性がある方で、
○診療情報等を研究目的に利用または提出されることを希望されない場合
○研究への協力を希望されない場合、あるいは協力を途中でおやめになりたい場合は2026年3月31日までに末尾に記載の問い合わせ先までご連絡ください。

【研究課題】

固形がんに対するがん遺伝子パネル検査を用いたがんゲノム医療の実態についての研究（審査番号*****）

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

共同研究機関 東京大学医学部附属病院・泌尿器科
研究責任者 泌尿器科 助教 藤井陽一
担当業務 データ取得

【共同研究機関】

※試料・情報の提供を行う機関は、機関の長の名前も記載

主任研究機関 東京都立多摩総合医療センター
研究責任者 ゲノム診療科 医長 井上大
機関の長 横山鉄矢
担当業務 計画立案、データ取得、データ解析

この研究に利用する試料・情報は共同研究機関の範囲のみで利用されます。

【研究期間】

承認日～2029年12月31日

本研究は長期にわたる研究を計画しています。記載の研究期間終了後も継続する場合は、研究期間延長の申請を行う予定です。

【対象となる方】

2019年6月1日～2025年3月31日の間に当院泌尿器科で、がん遺伝子パネル検査

を受けた方

【研究目的・意義】

2019年に、進行がんの患者さんに対してがん遺伝子パネル検査が保険適応となり、がんの診療において欠かせない検査となっています。がん遺伝子パネル検査は、がん細胞における複数の遺伝子の変異を同時に解析する方法であり、治療薬の選択肢を広げられる可能性があります。しかし、実際にがん遺伝子パネル検査がどのように実施されており、どのくらい効果を上げているのかについては、十分に検証できていません。

本研究では、当院泌尿器科ならびに東京都立多摩総合医療センターにおいてがん遺伝子パネル検査が行われた症例の情報を収集し、検査データと臨床情報を統合して解析することで、がん遺伝子パネル検査の現状や課題について明らかにします。

【研究の方法】

2019年6月1日から2025年3月31日までにがん遺伝子パネル検査を行った症例について、これまでの診療で診療録（カルテ）に記録されている以下の情報を取得して行う研究です。特に研究対象者の皆さんに新たにご負担いただくことはありません。

- ①年齢、性別、身長、体重、病歴に関する情報（現病歴、発症したがんの病名、既往歴、家族歴、生活歴）
- ②検査結果（血液検査、放射線画像所見、内視鏡所見、病理組織診断、遺伝学的検査所見など）
- ③行った治療（手術、放射線、薬物治療の詳細）とその効果

東京大学医学部附属病院においては泌尿器科で検査を行った症例が対象となります。提供いただいた情報は、共同研究機関である東京都立多摩総合医療センターと共有し、解析を行います。研究対象者の皆さんのお名前等が、他機関に伝わることはあありません。

利用又は提供を開始する予定日：実施許可日（2025年*月*日）

なお、研究計画書や研究の方法に関する資料を入手・閲覧して、研究内容を詳しくお知りになりたい場合は、末尾の連絡先にお問い合わせください。他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲でご提供させていただきます。

【個人情報の保護】

この研究に関わって取得される情報等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

取得した情報等は、パスワードでロックした電子データの状態で、研究者による直接運搬によって東京都立多摩総合医療センターに送られ解析・保存されますが、送付前に氏名等の個人情報を削り研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにします。どなたのものか分からないように加工した上で、東京都立多摩総合医療センターの研究従事者のみアクセスできるサーバー内厳重に保管します。

この研究のためにご自分（あるいはご家族）の情報・データ等を使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の問い合わせ先に2026年3月31日までにご連絡ください。必要な場合には、当診療科において研究用の符号を元の氏名等に戻す操作

を行うことができます。研究に参加いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。

ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌で公表します。

取得した情報・データ等は厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。保管期間終了後には、復元不可能な形でデータを削除することで廃棄します。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。

尚、提供いただいた試料・情報の管理の責任者は下記の通りです。

試料・情報の管理責任者

所属：東京都立多摩総合医療センター ゲノム診療科

氏名：井上大

この研究は、東京大学医学部倫理委員会および東京都立多摩総合医療センター倫理委員会名の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。

この研究に関する費用は、東京大学医学部附属病院泌尿器科の運営費から支出されています。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

尚、あなたへの謝金はございません。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

2025年9月

【連絡・お問い合わせ先】

研究責任者：藤井陽一

連絡担当者：佐藤悠佑

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院医学系研究科・医学部 泌尿器外科学講座

東京大学医学部附属病院 泌尿器科

電話：03-3815-5411 (内線 33566) FAX：03-5800-4614

e-mail：satoy-uro@h.u-tokyo.ac.jp